

1 学校の概要

(1) 所在地・校区の様子

宇部市の西の端、山陽小野田市との境に位置し、平成3年4月に宇部市立厚南中学校から分離開校した宇部市内で最も新しい中学校である。校区には、今回の事業を連携して行っている宇部市立原小学校と、市内で最も新しい宇部市立黒石小学校の2校があり、両校からほぼ半数ずつが入学してくる。もともとは田や緑の多い宇部市の郊外にあたるが、大型のショッピングセンターが進出して以降は、郊外型の飲食店や大型店舗などが増えている。

(2) 学校の概要

現在は各学年4クラス、特別支援学級2クラスの計14クラス、全校生徒403人の中規模校である。生徒の学校生活は近年落ち着いており、学習環境も整っている。また、グラウンドやテニスコート、体育館等の施設にも恵まれ部活動も盛んである。平成8年度に「福祉教育研究推進校」の指定を受けて以降、毎年行う「福祉体験活動講座」「V S (ボランティアサービス) 活動」が一つの特色としてあげられる。

(3) 教育目標と取り組み

「21世紀を創造する生徒の育成」を目標とし、子どもたちが、一人ひとりの夢の実現に向けて明るい未来を切り開いていくために、創造性や豊かな人間性に富んだ多様な人材の育成に努める。その目標に向け「一人ひとりの生徒が主人公である学校」づくりに取り組み、具体的には「自分を生かし、所属感や充実感を感じる場のある学校」や「楽しく、わかる授業のある学校」を掲げている。その実現に向けた特色ある実践として、前述の「福祉教育」、この事業に伴う「体験活動を生かした仲間づくり」、「9教科全てのコメント(所見)記述の通知表」、「生徒による授業評価をもとにした授業改善」、「習熟度別少人数授業」を行っている。

2 児童生徒の実態と事業の必要性

前述の通り、2つの小学校から半数ずつが入学してくる。小学校での人間関係から、「自然教室」「部活動への参加」を経て、6月頃に交流が深まり始めるころから、様々なトラブルが目立ち始める。けんかやからかいが頻繁に起こり、登校しぶりも例年、この頃から始まる。また、近年は、進路についての不安が高まる3年の2学期から、学級への不応適や対人関係の不安から、不登校や相談室登校に陥るケースが見られる。

社会的にもメール等による表情の見えない会話や単語での言葉のやりとり、その場にいる相手に合わせうなずくことによる居場所の確保など、希薄な人間関係と言わざるをえない状況がある。

その状況の中では、「自己肯定感」をもち「他者受容」ができるように、言葉のやりとり(自分の考えを述べる会話)による「他者理解」と「自己理解」をし、「自己表現力」を高める活動を、援助し体験させていくことが今の生徒たちには必要と考えられる。

3 取組みの紹介

(1) 研究テーマ

「体験的活動を生かした仲間づくりの実践と研究」
ー構成的グループエンカウンターの手法を用いてー

(2) ねらい

中学校3年間を通じた「人間関係づくり」を主眼とした体験的活動を通して、生徒がその集団や環境の中で「自己肯定感」を覚え、その集団が「お互いを高めあう仲間」となるよう働きかけたい。その実現による、「不登校」「いじめ」のない学校・学級づくりを目的とする。

- 「構成的グループエンカウンター（SGE）」を用いた人間関係づくり活動の実践を通じての、生徒同士及び教師と生徒の信頼関係を基盤とした学級づくり。
- 教員のSGEの手法を用いた指導方法の確立と、3年間の系統的な実践に向けた効果的な年間計画の作成。

(3) 講師

鈴ヶ峯女子短期大学 保育学科 助教授 森 洋 介 先生
(主な研究分野：社会福祉援助技術・カウンセリング・グループワーク)

(4) 具体的な取組み内容

構成的グループエンカウンターの手法を用いる。年間5回の講師招聘による研修会（本校教員が行った研究授業をもとに研究協議を行い指導助言を受ける。）を中心に、実践例や書籍記載例を本校の実態にあわせて選択・構成し、実践していくことを具体的な研修活動とする。

【1年次】

- 講師招聘による研修会（年間5回）
- 現在の1学年全体の「人間関係」「不登校」の実態把握
- 学年、学級を対象としたエクササイズの実践
- 年間計画づくり

① 実践事例（研修会でやったエクササイズの例）

I 「私の価値観と職業」

○ 指導例

ねらいの説明

- ・「今日は自分の価値観を探り、また、その価値観をもとに将来どんな生き方をするか考えていきたいと思う。」
- ・「その価値観を知った思いを正直に仲間に言うことができること、仲間の価値観とそ

の思いを受け止めてあげることも課題だ。」

準備 1

- ・プリントA（二者択一の設定と集計表のついたもの）配布
- ・説明の通りに設問に答えさせ、集計させる。

準備 2

- ・プリントB（価値の説明と記入用紙）を配布
- ・プリントAの集計結果を書き写させる。
- ・価値項目の説明をする。
- ・自分のもっている価値観を確認させ、下記のポイントでプリントに記入させる。
 - 驚いたこと、意外だったこと、納得できたこと。
 - 自分の価値観を満足させる生き方や職業について（例を挙げると良い）

インストラクション

- ・今回のエクササイズは、そのプリントに記入したことをもとにグループ内で発表しあう。
- ・一人1分とし、その中でまず「自分の価値観」（数の多かったものや逆に0だったものなど）を紹介する。そして、感じたことと、考えた将来の生き方や職業を話してください。プリントを見てもかまいませんが、聞いてもらうということは忘れずに話してください。
- ・グループの中で誕生日が一番早い人が最初で、時計回りに回していきます。人数が少ない班は、話したりなかった人、他の人の話を聞いて付け加えたいことができた人が次の1分を使ってください。
- ・今日は、「私がしゃべります。聞いてください人形（カード）」を話す人がもちます。
- ・聞く人はしっかり、聞いてうなずいてあげてください。また、話がとぎれたりした場合は助言をしたり、質問をしたりしてあげましょう。

デモンストレーション

（教員の結果をもとに、1分で話をする。この1分が生徒の活動を活発にさせる。）

エクササイズ

- ・それでは、グループになってください。最初の人（誕生日が早い人）は人形をもちましょう。
- ・それでは、はいどうぞ。・・・（1分の合図）・・・はい、終わりです。つぎの人に人形を回してください。（繰り返し）

シェアリング（5分程度）

- ・そのグループで感想を話し合しましょう。
- ・感想の内容は、
 - ①話してみて、人の話を聞いてみて自分について気づいたこと学んだことを話そう。
 - ・「みんなと違って」「感想が貧相」「生き方が他の人と違う」など
 - ②仲間について気づいたことも話してみよう。
 - ・「考えが深い」「意外にそんな価値観をもっていたんだ」「その生き方ぴったり」
 - ・教員が聞き耳を立てて、シェアリングの内容をいくつか披露する。

- 振り返り**・振り返り用紙（プリントBの下）に記入させる。

まとめ ・価値観についてまとめの話をします。(下記参考)

○今回の「私の価値観」を一年の先生方にもやってみてもらったところ、いろんなパターンになった。実利が多い先生、身体が多い先生、博愛が全くない先生。という

○教師という仕事はいろんな価値観を満足させる職業なのかもしれない。

○満足できる職業を選ぶか、その職業の中で満足できるようにするか、また、生き方や趣味の中に価値を求めるか、人それぞれだと思う。また、価値観は成長によって出会いによって変化もしていく。しかし、その自分の価値観を知っておくことは将来、進路を考えるのに必要なこと。

○また、これを機会にいろんな職業やいろんな人の生き方に興味を持てれば一番良い。

○ 資料

※プリントA

※プリントB

私の価値観と生き方 ()組()番()

【価値観とは】
ある物事に、どのような価値や意義を認めるかについての、それぞれの人の考え方のこと

↓例えば
「どんなことをしたときに喜びや満足感を感じるか。」
ということがある

じつは、私達はだんだんその「価値観」に関わらなから行動しています。中でも、自分の進路(進学先、職業、生き方)を考えるとときには大きく影響してくるものです。また、価値観は人それぞれあります。そして、それが正しいというものではありません。このプリントを使って、まず、自分の中にある価値観を覗いてみましょう。

- ①将来、自分の子どもを育てるときには
ア 勉強をみてる。 イ 一緒に運動してやる。
- ②あなたは、なるとしたら、どちらの職業を選びますか。
ア 科学者 イ 政治家
- ③2枚のチケットがあります。どちらが欲しいですか。
ア 野球など、好きなスポーツやゲームの観戦チケット
イ 映画や好きな歌のコンサートのチケット
- ④自由な時間があり、習うとしたらどちらにしますか。
ア 手話 イ 絵や楽器の演奏
- ⑤やるほど収入(お金)があったら、どちらにかかりますか。
ア さらに増やす可能性のある事業に投資する。
イ 社会福祉のためや義理金として寄付する。
- ⑥友達にコンピュータをもらっていたら、どっちの声をかけますか。
ア 使い方を教えてよ。 イ いくらだった?
- ⑦ノーベル賞が授与されるならどちらがいいですか。
ア ノーベル平和賞 イ ノーベル文学賞
- ⑧公園で鳥の巣を見つけた。どちらが気になりますか。
ア どんな鳥の巣なんだろう。
イ 野犬やいたずらの被害にあわないかなあ。大丈夫かなあ。
- ⑨同じ苦勞をするならどちらを選びますか。
ア こまごまわれる収入の多い大企業の社員
イ 小さい会社で収入は安定しない忙しい社長
- ⑩日本でのオリンピックの開会式は、どちらの意味が大きいですか。
ア 日本人のスポーツへの関心が高まる。
イ 国際的に日本への理解が深められ、信用が高まる。
- ⑪暇なとき、次の2冊しかないとしたらどちらを選びますか。
ア 自然科学やある機械の仕組みを特集した雑誌
イ スポーツの雑誌
- ⑫休日遊びに行くなら、次のどちらに行きますか。
ア 日本にくるのは最後になる「モナリザ」の展覧会(最終日)
イ 大型ショッピングセンターの超大安売り(その日限り)

	A	B	C	D	E	F
①					ア	イ
②	ア					イ
③			イ			ア
④			イ	ア		
⑤		ア		イ		
⑥	ア	イ				
⑦			イ	ア		
⑧	ア			イ		
⑨		ア			イ	
⑩					イ	ア
⑪	ア					イ
⑫		イ	ア			
○数						

私の価値観と生き方 ()組()番()

1 次の表に、プリントAの丸の数字を書き写しましょう。

A (真理)	B (実利)	C (美)	D (博愛)	E (権力)	F (身体)

- 「真理」・・・正しい知識を得たいと思う。深いところまで追究しようとする。
(科学者、突きつめた満足いく仕事をする、マニア、カルト)
- 「実利」・・・利益や自分の得になること、お金を求める。
(給料の良い職業、宝くじ、物が豊かな生活・・・)
- 「美」・・・芸術(絵、音楽など)に対する興味が強い。美しい、すばらしいものに感動する。
(芸術家、仕事より趣味、デザイナー・・・)
- 「博愛」・・・全ての人を愛すること。人のために何かしたい。人が喜ぶとうれしい。
(ボランティア、看護師、やさしい親・・・)
- 「権力」・・・他人を支配し、従わせる力をもちたい。人の上に立って仕事をしたい。
(社長、出世、リーダー・・・)
- 「身体」・・・健康でいたい。体を動かすことが好き。体を使った仕事をしたい。
(スポーツ選手、大工、卓球選手、健康的に気をつかった食事・・・)

2 自分の価値観を覗いてみて、感じたことを書きましょう。
①自分の価値観に対して感じたこと(驚いたこと、納得したこと、意外だったこと)

②その価値観を満足させることができそうな職業や生き方

3 人の話を聞いて気づいたことをメモしましょう。
(自分に対し) (仲間に対し)

II 「究極の男女交際」

○ 指導例

◎ねらいの確認とおおまかな内容の説明。

- ・今回は、性教育を兼ね、男女の関わりについて自分の思いや友人の思いを確認し、自己理解や、他者理解、異性理解をしたいと思います。「男女交際」に視点をおいた「2者択一」によって異性に対する思いの自己理解をし、その内容を発表し合うことで仲間や異性の考えを理解し合うエクササイズにしたいと思います。

ねらいと内容の確認

- ・友達同士でしか話したことがない、また、だれにも言ったことがないかもしれない、好みの男性、好みの女性を、カミングアウトしましょう。そして今回は、男子同士、女子同士でエクササイズをやります。さすがに、異性の前でこれは話しにくいと思うので。しっかり、遠慮せずに話しましょう。なんか、本音で話せそうじゃないですか。今日はそれもバレンタインデー。楽しく話しましょう。でも、冷やかしたり、あとでおもしろがってばらしあいっこはなしです。どのエクササイズでもいっしょだけど、今度は特にね。

準備

- ・プリント（二者択一の設問と理由を書き込む欄がついたもの）を配布
- ・方法の説明
「それぞれの項目でどちらかを選び、選んだ理由を書いていく。」
「さらに選ぶ時に重視する順番をつける。」

インストラクション

- ・今回のエクササイズは、プリントに記入したことをグループ内で発表しあいます。
- ・一人1分30秒とします。
- ・自分が重視する設問順に、選んだ内容を発表し理由も紹介します。
「まずエの・・・（きちんと書いてあるとおりに）を選びます。」
「なぜなら・・・と思っているからです。」
「次にウの・・・」「なぜなら・・・」「次にオの・・・」
- ・時間になったら、全ての項目が話せていなくても終わりとします。
- ・「私がしゃべります。聞いてください人形（カード）」を話す人がもちます。
- ・話す人はプリントを見てもかまいませんが、聞いてもらうということは忘れずに聞いてくれている人の反応を確かめながら話してください。
- ・聞く人はしっかり、聞いてうなずいてあげてください。また、話がとぎれたりした場合は助言をしたり、質問をしたりしてあげましょう。

デモンストレーション（しっかり自己開示をしましょう。本音でないとダメです。）

エクササイズ

- ・それでは、グループになってください。
- ・グループの中で〇〇の人が最初で、時計回りに回していきます。
- ・最初に話す人は人形をもってください。
- ・それでは、はいどうぞ。・・・（1分半の合図）・・・はい終わりです。つぎの人に

人形を回してください。(繰り返し)

※確認、援助、介入

シェアリング (5分程度)

- ・そのグループで感想を話し合しましょう。
- ・感想の内容は、
 - ①話してみて、聞いてみて、自分について気づいたことや学んだことを話そう。
「みんなと違っていた」「理由が単純」「・・・の理由を聞くとやはり・・・がいい」
 - ②仲間について気づいたことも話してみよう。
「考えが深い」「なんか考えが大人」
- ・では、発表してもらいましょう。男子(女子)に少しだけ、どれが選ばれ、どんな理由だったか、また、シェアリングではどんな感想が出たかを教えてあげてください。もちろん、だれが言ったかは秘密です。

まとめ

- ・今回は、やっぱり人それぞれ違う考えをもっていることの確認と、男女の関わりのあるあり方について考えてもらえればいい。この男女交際を、おもしろ半分や興味本位にしたり、友人のことについて冷やかashiによる嫌な思いをさせることがないようにしたいね。また、女子(男子)の意見もこれからの自分の考えの参考にしようね。

振り返り (振り返り用紙に記入させる。)

○ 資料

※プリント

バレンタインデー ♥ 究極の選択

年 組 番

もし、バレンタインデーで
チョコをあげるなら、また、もらうなら どっち？

◎ 選んだ方の<>に○をつけましょう。
◎ また、選んだ理由をそれぞれ書きましょう。
◎ さらに、設問の記号の横の()に重視する順位も書いておきましょう。

① () A<> 顔やスタイルなどの格好はともかく性格の良い人
B<> 性格はともかく顔やスタイルなど格好のいい人
「なぜなら _____ からです。」

② () A<> 授業や普段の学校生活で評価されている人
B<> 部活動や行事(運動会や文化祭)などで評価されている人
「なぜなら _____ からです。」

③ () A<> 私には特別優しくしてくれる人
B<> 誰にでも優しくしてくれる人
「なぜなら _____ からです。」

④ () A<> 私のことを一番に考え、いつも一緒にいてくれる人
B<> 自分の時間も大切にしている人。
「なぜなら _____ からです。」

▼メモや感想・・・(裏も使ってもいいよ)

※振り返りシート

振り返り用紙 「仲間づくりエクササイズ」 月 日 ()

内容「 _____ 」 ()組 ()番 ()

① 今日のエクササイズはどうでしたか。
5 とても楽しめた 4 少し楽しめた 3 どちらとも言えない
2 あまり楽しなかった 1 楽しなかった
回答

② 今日のエクササイズが自分のためになりましたか。
5 とてもためになった 4 ためになった 3 どちらとも言えない
2 あまりためにならなかった 1 ぜんぜんなっていない。
回答

③ 自由に感想を書きましょう。



② 研究協議・指導助言から

- ・ねらいを明確にして、それを植え付けることが必要。
- ・リーダーの自己開示が大切。本音が安心して言える場にするために。
- ・ルールは大前提。ルールが守れないときは厳しく介入すべき。ルールを再確認し、始めから行うことも必要。そのためにも時間は余裕をもって設定をしておくべき。
- ・シェアリングの時間を大切に。本音を聞いてくれる人がいるという認識する場であり、この活動がメインでエクササイズはきっかけづくりである。
- ・自分の気持ちを言い、それを聞いてもらう、という活動で良い。一人ひとりにその活動をする時間を確保してあげることが大切。
- ・「静かにしろ」「やめろ」など強い口調で指導するのではなく、それにかわる雰囲気やルールづくりが必要である。たとえば、鐘を鳴らすなど、他の授業とは雰囲気を変えて行う必要がある。

③ 生徒の「振り返り」から

○ 「自己評価」について

評価は比較的高いが、もちろん内容による。実質が伴ったり、興味の高い内容（「男女交際」や「価値観」など）をエクササイズで扱ったときは特に評価が高かった。表現の方法がはっきりしなかったり、聞く雰囲気がつくれなかったときは評価が低い。

○ 「感想」から

- ・自分を見直すことができたと思う。だから、人と関わるときの参考にしようと思う。
- ・男女関係なく話が盛り上がって、居心地が良かった。
- ・今まで話したことのない人の考えを知ることができてよかった。
- ・自分の意外な面がわかっておもしろかった。
- ・意見が班で半分に割れておもしろかった。相手の意見に納得してしまった。
- ・男子が勝手な話をされていて、早く終わって欲しかった。
- ・今日の内容はなんか話しづらかったが、一部で盛り上がっていた。

④ 1年次の成果と課題

体験活動の一つである「構成的グループエンカウンター」の実践研究を通して、生徒同士や教員と生徒の信頼関係を基盤とした「学級づくり」について理解を深めるとともに、人権教育や進路指導においても効果的な指導方法として実践につなげることができた。特に、教員にとって、新たな学級づくりの材料を手に入れることができたのは大きかった。その中で、時期による生徒の実態に応じた指導計画の立案や、構成された活動に生徒が意欲的に取り組むための指導方法の改善など、教育活動全般にわたる研修にもつながった。

生徒の実態は、初年度ということもあり、十分には変化を把握しきれていないが、SGEへの取組みには慣れ、抵抗なく有意義な活動として取り組んでいる様子が見えてくる。今年度は「二者択一」を中心に、自分がなぜ選んだかを材料とした、「自己表現」と「他者理解」の体験を行った。2年次は、ルールの確立と受け答えが必要な内容の実践をし、さらに発展させることが課題である。

【2年次】

- 講師招聘による研修会（年間5回）
- エクササイズの選択と開発
- 学年、学級を対象としたエクササイズの実践
 - ・学級活動、または道徳の時間を利用したエクササイズ（ロング）の実践
 - ・黒石タイムや終学活を利用したエクササイズ（ショート）の実践
- 振り返り用紙の分析による、効果的なエクササイズと生徒の実態や変化の把握
- 年間計画の作成

① 実践事例（研修会で行ったエクササイズの例）

I 「サイコロトーク」

○ 指導例

(1) 導入

◎ねらいの確認とおおまかな内容の説明。

- ・6月になりました。社会見学も終わり、そろそろクラスの色が出始めたようです。また、なんとなく、クラスの仲間の名前と顔が一致し始めた頃でしょう。このあたりでもっとクラスのメンバーのことを知みましょう。そのために、様々な「お題」を用意して、それについて語り合い、意外な一面を探ってみたいと思います。

(2) ウォーミングアップ 「サイコロ作り」

インストラクション

- ・まず、ウォーミングアップとして、「サイコロ作り」をしましょう。
- ・今回の「エクササイズ」ではサイコロを使います。数字ではなくて「お題」が書いてある「トークサイコロ」です。すでに、三つの課題はこちらが設定しています。
- ・まず、残りの三面のうち一面は「自分の名前」を書き込みます。
- ・後の二面には、自分が知りたい相手の一つの姿が見えるようなお題を考えて書きましょう。「自分は・・・だけど、他の人はどうなんだろう。」「自分には・・・な体験があるけれど、他の人にもあるのかなあ。」というものがいいですね。
- ・ただし、相手やみんなが嫌な気持ちになるお題や、それは言えないだろうというお題、また答えられない人がいるお題は避けましょう。

デモンストレーション（上記のような課題を一つ二つ例として挙げる）

エクササイズ

- ・それでは「お題」を考えて、書きましょう。書き終えた人は、サイコロを作り始めてください。

※サイコロを組み立てるのに時間がかかる

(3) メインエクササイズ

準備

- ・では、まずメインエクササイズ「サイコロトーク」のグループ作りをします。今から、言うメンバーで行います。自分のサイコロをもって移動し、グループ毎に近くの机いすを借りて話し合いができるようにしてください。

※一グループ 4から5人位の男女混合で、事前に決めておくといよい。

ねらいと内容の確認

- ・では、それぞれのグループで、「サイコロトーク」を行います。そのグループでサイコロを交換し、順番にサイコロを振ってでたお題について話してもらいます。仲の良い者や、初めてしゃべる人など様々なグループだと思います。まずは、このグループで良かったという気持ちに慣れるといいですね。あまりよく知らない人と一緒になっている人はとてもラッキーです。よくある「得意な教科は」のような自己紹介とは違う、意外な一面を知ることができるからです。その人のことを知りたいというオーラをしっかりと出して、聞きましょう。

インストラクション

- ・まず右隣にサイコロを回します。1回目はそのサイコロを使います。
- ・一回りしたら、さらに右隣に回し、続けておこなっていきます。
- ・話す人は、サイコロを振り、出た目をみんなに見せる（正面にする）ようにして手に持ち話してください。聞く人はサイコロをもたないようにしましょう。
- ・一人一分の話す時間があります。単語だけでなく、しっかり語りましょう。
- ・「名前」の面が出た場合は、その人について思うことや知っていることを言いましょう。みんなが知らない一面を話せるといいですね。実は愛していますでもいいですよ。
- ・そこで、その一分を有効に使うために、つぎのようにします。
- ・まず、サイコロを振るタイミングを指示します。その後、少しそのお題について考える時間をあげます。そして、「トークしてください」と指示を出すので話し始めてください。これで、最初に空白時間ができないと思います。
- ・次に、もし早く話が終わってしまったら、右隣の人から「つつこみ（質問）」を入れていき、それに話し手は答えましょう。つつこみを入れる側は、もっとあなたのことが知りたいという思いを出しましょう。これであつというまに1分が過ぎます。
- ・様子を見て、1分が短いようであれば、変更を指示します。
- ・もう一つのルール。どうしてもその話がダメなら、**1回だけ**ふり直しを許可します。同じのがでたら、あきらめて話しましょう。
- ・その人のことが知りたいというオーラを出すために、乗り出して聞きましょう。

エクササイズ

- ・それでは、女子の出席番号が遅い人から、始めます。
- ・では、サイコロを振ってください。ちょっと考えましょう。
- ・お題を正面にして持ち、「トークしてください」「始め」。

助言・介入（聞く側への指示を）

- ・（1分） はい終わり。
- ・では、次は右隣の人・・・上記と同様。

一周まわったら（班によって人数が違うことにも配慮しながら）

- ・サイコロを右隣に回しましょう。そして、同様にいきましょう。
- ・では最初の人、サイコロを振ってください・・・・・・・・
- ・はい、では終了します。

シェアリング（5分程度）

- ・そのグループで感想を話し合しましょう。
- ・感想の内容は
 - ①話を聞いての感想。
 - ・「〇〇さんの・・・の話がおもしろかった。」
 - ・「××さんの・・・のお題の話が聞きたかった。」
 - ・「・・・君の・・・は自分にもあるなあと思った」
 - ②エクササイズの感想
 - ・こんなお題を考えるとよかった。おもしろかったまたやりたい。
 - ・全員が一回は話すように順に話していきましょう。男子の番号が若い方から。
 - ・では、いくつかの班に出た内容を発表してもらいましょう。

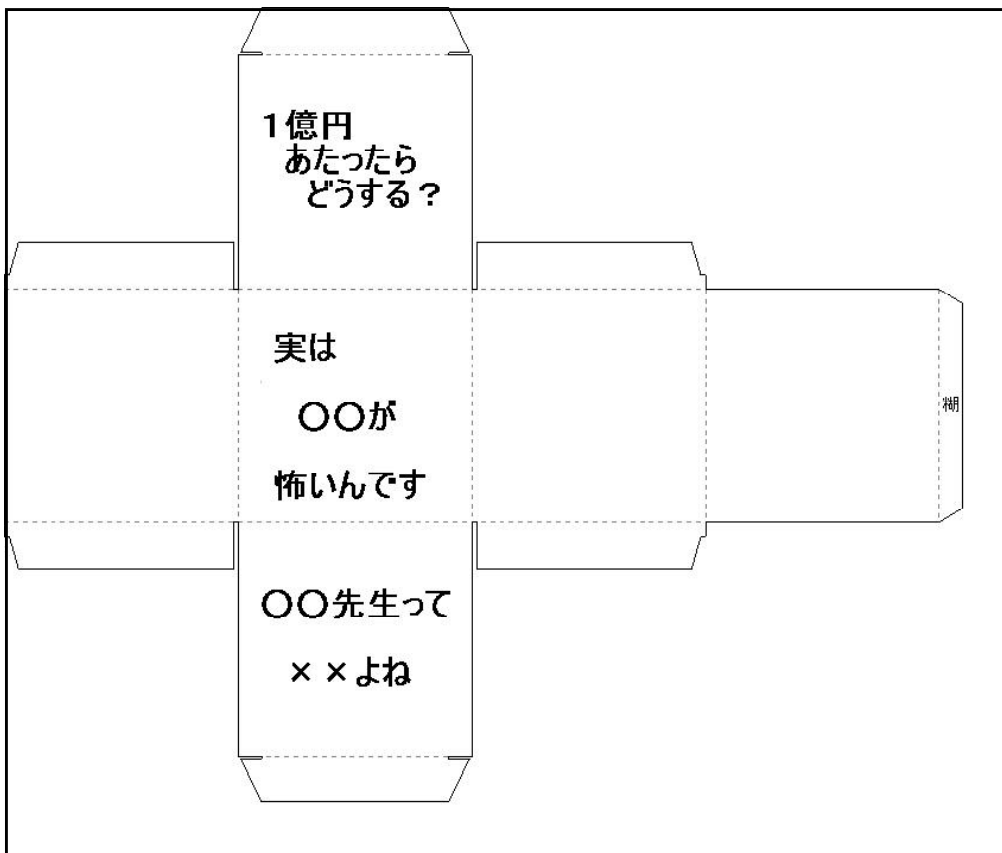
まとめ

- ・せっかくなので、何回かやりたいと思います。サイコロを大事にしましょう。
- それとせっかく意外な面を知ることができた仲間です。交流を深めましょう。

振り返り振り返り用紙に記入させる

○ 資料

※サイコロ展開図



II 「トランプの国」

○ 指導例

◎ねらいの確認と概要の説明

- ・自分の発言を聞いてもらい受け止めてもらう、またそれがみんなの役に立つという心地よさの体験と、人の発言を真剣に聞き、好意的に受け止める体験が今日の目的です。
- ・4、5人のグループで協力して課題を、解決してもらいます。解決には、グループのメンバー全員の発言が必要です。真剣に取り組んでみましょう。

ねらいと内容の確認

- ・では、今日のメインエクササイズに入ります。今日の目的は、みんなが対等の関係で、不可欠であることに気付くことです。いつも他人任せにしている人には特に、自分の発言が必要なんだという体験をしてほしいです。また、何か意見を言うと、やじったり、ひやかしたりする雰囲気があると、意見が言えません。人の話を真剣に聞き、理解した上で、意見交流することが何かをやり遂げるためには必要である事も体験してほしいと思います。
- ・グループで、トランプの絵札十二枚を並べた「トランプ王国」を完成させてもらいます。一人でも、協力しなかったり、またないがしろにすると完成しません。

インストラクション

- ・ここにトランプの絵札12枚とヒントカード15枚があります。
- ・ヒントカードは、グループのメンバーが分けてもちます。
- ・自分の持っているカードの情報をみんなで伝え合い、情報を総合して、シートにトランプを並べてください。
- ・ただし、ルールがあります。カードを見せ合わないことです。必ず話すことでヒントを伝えあってください。
- ・ヒントが一つでも欠けると、完成しません。つまり、全員が必ず参加し、完成に向けて発言することが大事です。また、しっかり聞くことも大切です。「今のもう一回言って」という声もかけあいましょう。

エクササイズ

- ・グループを作ります。(4または5人のグループをつくる)
- ・一つの机を囲む形で座ってください。
- ・(各グループにトランプとカードとシートを渡す。)
- ・ヒントカードを裏返しのまま、ランダムに配ってください。
- ・時間は10分です。完成したグループは先生を呼んでください。
- ・(もし早く完成したグループがいたら、他にヒントになりそうなことを発見させる。)

例 「左端にいるクイーンは一人だけ」など

●エクササイズ (助言・介入) 【10分】 終わりです。

(もし全てのグループが完成すれば早めに終わる。)

- ・完成したグループに拍手をしてください。

シェアリング (5分程度)

- ・「そのグループでシェアリングをしましょう。」

- ・「気づいたことや感じたことを話しあってください。」
- ・「例えば、○完成させるために大切なこと ○自分が気をつけたこと ○発言して、聞いてもらえて、役にたって感じたことなどを話しましょう。」
- ・「まずは、全員が一回は話すように順に話していってください。」
- ・「あとは、自由に発言しあいましょう。」
- ・「黒板に近い人、グループのまとめ役をお願いします。」
- ・(5分)「では、いくつかの班に出た内容を発表してもらいましょう。」
- ・(二つの班ぐらいに、内容を発表させる。)

まとめ

- ・今回は、決められた台詞を言うだけでしたが、自分の存在の大切さやみんなの協力の大切さを体験できたでしょうか。
- ・実際の学級生活の場面で、生かすことができるようになればいいですね。

○ 資料

※カード

「トランプの国」 トントカード
(切り取ってバラバラにします。)

1 同じマークのカードが 一列に並ぶ	2 キングとクイーンは 見つめ合っている	3 花を握っていない クイーンが一番上にいる
4 カードの上側の 顔の向きに注意	5 全員の洋服に国のマーク が入っている国が一番上	6 キング自身が宝物を 守っている国が二つある
7 見えないが左端の人が 宝を守っている	8 ジャックとキングが 変装して入れ替わって いる国がある	9 葉が顔についている ジャックが一番下の国
10 ジャックはクイーンと キングを見守っている	11 キングに変装した ジャックは両手 を出している	12 見えている目の数が 一番多い国が一番下
13 ジャックに変装した キングは花を持っている	14 キングが真ん中に いる国が一つある	15 キングの洋服だけに国の マークが入っている国は 上から三番目

※答え

♠ K	♠ Q	♠ J
♥ J	♥ Q	♥ K
♦ J	♦ Q	♦ K
♣ Q	♣ K	♣ J

(トランプによって顔の向きが違うので確認が必要です。)



② 研究協議・指導助言から

- ・時間を設定する、グループの人数を決めるなど、構成するというにもっと配慮が必要である。グループ作りを安易に行うと全体の活動に支障がでる。
- ・男女混合のグループにしたときに間に距離を感じた。その距離を縮めるアイスブレイキングが必要。
- ・話す内容を紙に書くことによって、話す方は楽になったが、聞く側に対するルールづくりが今後の課題。
- ・説明したらすぐにさせてみる。長い説明はわかりにくくなるもと。リーダーも言葉の精選が必要。
- ・視覚的な道具をもっと使う。いつもの授業とは違う道具や、音、雰囲気、服装も大切。

③ 生徒の「振り返り」から

○ 「自己評価」について

2年目を迎え、この活動に生徒、指導者ともに慣れてきたこともあり、今年度は全体的にリラックスして、また楽しんで活動している様子が強くうかがえた。特に、内容が具体的な生活体験と結びつくもの、ゲーム的要素のある興味の高い内容、また、方法が簡単なものをエクササイズで扱ったときは評価が高かった。また、表現の方法がはっきりしない内容、聴く雰囲気がつくれなかったとき、ねらいが理解しにくいもの(らどうする)」の場合は評価が低かった。

○ 「感想」から

- ・普段話せない人とも話せてよかった。
- ・自分のことを長い間話すのは大変だったけど、聞いてくれていてうれしかった。
- ・女子とは気があったが、男子とは考え方が違っていた。
- ・やり方を理解するまでに時間がかかり、あまり楽しくなかった。
- ・普段しゃべらない人と二人きりだと、とても緊張する。
- ・謎解きは楽しいし、自分の意見を何度も求められてうれしかった。
- ・意見を言い合うことはとても大事で、楽しいことだとわかった。
- ・自分の意外な一面を教えてもらえてとてもよかった。
- ・今日はクラスの雰囲気がとても温かく、なんだかよかった。

④ 2年次の成果と課題

生徒同士や教員と生徒の信頼関係を基盤とした「学級づくり」についてより理解を深めるとともに、方法の研修としてのみではなく、その「学級づくり・人間関係づくり」の実践においても効果を感じ始めた。その中で、教員の個性や学級の実態に応じた指導方法を新たな課題として取り上げ研修を深める必要がある。

今年度、「自己肯定感」を高める活動を中心としてエクササイズを開発・選定してきた結果、生徒たちの評価も高く、まだその活動時間内ではあるが新しい人間関係やその交流の方法を楽しんでいる様子が見えようになった。

次は、3年生での効果的な年間計画の作成とともに、この2年間に作成した1・2年生の年間計画を実践・検証していく全校をあげた研修が課題である。

【3年次】

- 講師招聘による研修会（年間3回）
- エクササイズの選択と開発
- 振り返り用紙の分析による、効果的なエクササイズと生徒の実態や変化の把握
- 年間計画の作成と過去2年間の検証

① 実践事例

I 「アサーションを試そう」

○ 指導例

◎ねらいの確認と概要の説明

- ・お互いを大切にしながらも素直にコミュニケーションがとれる自己表現法「アサーション」のスキル（技能・技術）を理解し、友人関係づくりに役立たせる。
- ・相手の欲求や主張に対し、相手の気持ちや権利を考えながら、自分の気持ちや権利を相手に受け入れてもらい、お互いに不愉快にならない自己表現をする方法の体験。

ねらいと内容の確認

- ・「他人とトラブルにならないようにしながら、でも自分の望みもかない不愉快にならない話し方「アサーション」というものを体験してみましょう。」
- ・「例えば、誰かに何かを頼まれるけど、その頼みを今は受けたくない状況。」
（対応①）「嫌だけどしかたなく引き受ける」 = 「非主張型のおどおどさん」
（対応②）「強い調子で断る」 = 「攻撃型のいばりやさん」
（対応③）「相手が傷つかないよう上手に断る」 = 「さわやかさん・アサーション」
- ・「以上のように三種類の対応の仕方があります。ある具体的な状況設定をし、その3つの対応の仕方を演技してみます。」

インストラクション ①

- ・「二人組になりましょう。」（機械的な組み合わせ、または、くじ）
- ・（プリント配布・別紙）「シナリオAに従って、二人でロールプレイをします。」
- ・（シナリオAの内容を説明）
- ・「XさんとYさんの役割を決めます。そして、Xさんの3通りの対応を続けて行ってみます。そのあと役割を交代して同じようにやってみます。」
- ・「時間は5分です。早く終わった人は、感じたことをプリントの裏に書いておきましょう。最後のシェアリングの時に話してください」

デモンストレーション（アドリブを交えて）

エクササイズ ①

- ・「役割を決めてください。」 ・「始めてください。」
- ・（5分）「はい終わり。」

インストラクション ②

- ・「違う二人組にしましょう。」（機械的な組み合わせ、または、くじ）
- ・（シナリオBを見るように指示）
- ・「今度は、自分で『攻撃的な対応』と『アサーションの対応』を考えてみましょう。」

- ・(シナリオBの内容を説明し、例をあげる。・デモンストレーションを兼ねて)
- ・「それでは、それぞれの対応のセリフを書き込んでください。時間は4分です。」
- ・(4分)「はい、ではやってみましょう。先ほどと同じように、役割分担をしX役さんは2通りの対応を続けて行います。終わったら役割を交代してください。」

エクササイズ ②

- ・「役割を決めてください。」 ・「始めてください。」
- ・(4分)「はい終わり。」

シェアリング (5分程度)

- ・「二つの組をくっつけて四人で感想を話し合しましょう。」
- ・「感想の内容は、
 - ①非主張や攻撃的な対応をした時の気持ち
「攻撃的なのは抵抗があった」「いつも非主張型の対応をしている気がする」
 - ②Y側になったときの感想
「攻撃時な対応は演技でも腹が立つ」
 - ③アサーションの対応について(自分はそうできているか??)
「いままであまり意識してなかったが、お互いのために必要と思う。」など

まとめ

- ・「自分のこれまでの対応を振り返ることができたでしょうか。アサーションは簡単にはできません。トレーニングが必要です。いろんな機会で心がけましょう。そして、自分の主張ができ、よい人間関係が作れる学級になることを願っています。」

振り返り

○ 資料

※シナリオ

仲間づくりエクササイズ
「アサーションを試そう」
()年()組()番()

《シナリオA》

X:(休憩時間に本を読んでいた。物陰も盛り上がる場面になり読みふけています)
Y:「何読んでるの?ちょっと読んで」(いきなり取り上げる)

X①【非主張型】:(迷惑そうな表情ながら)「うん、読んでいよー。あとで返してね」

X②【攻撃型】:(立ち上がり、本を取り返し)「なにするんだ!もう、一冊読むしろいところだったのに!ページもわかんなくなつた!あーあ!」

X③【アサーション】:「びっくりしたあ。それごくおもしろいんだ。ごめん、今一冊いいところ所なんだ。あとで貸してあげるから返してくれるかな。」

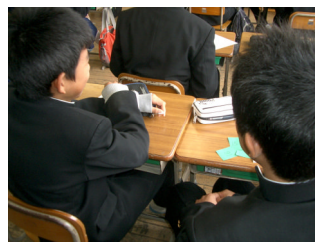
《シナリオB》

○状況 Xさんはある日の昼休み、早めに漢字のやり直しを終え、ぼーっとしていました。昼休みの残り時間が少なくなった頃、今まで選んでいたYさんがやってきて、漢字のやり直しを手伝ってとまってきました。著者のXさんだった「仕方ないなあ」と言いながら手伝ってしまいます。しかし、今日はやりたくありません。

X:(後ろで手を組み目をつぶっている)
Y:「おえおえ、漢字のやり直しわすれてた。6点だったんだよね。手伝ってよ」

X①【攻撃型】

X②【アサーション】



② 研究協議・指導助言から

- ・デモンストレーションも実態に合わせる必要あり。例を出しすぎないこと。
- ・3年目を迎え、慣れが良い方向にも相応しくない方向にも進ませている。指導者の(リーダー)の力量がより問われる。
- ・「自己表明権」—自分を表現することによって相手も大切にし、自分も大切にされたいとする。その中でお互いが過ごしやすい環境が作られる。
- ・シェアリングは個に戻り自分の体験に対する感情を確かめる時でもある。そのために紙に話す内容をまとめさせることは効果がある。
- ・エンカウンターが目指すものはなにか。他人と関われる自分になること。人間関係の中で自分の存在を感じる土台作りをすることである。
- ・グループが人を育てる。そのグループを育てる一つ的手段としてエンカウンターを用いたい。

③ 生徒の「振り返り」から

- ・みんなが協力することがこんなに楽しいとは思わなかった。それをみんなが感じていたことがすごかった。
- ・私の考えを求めてくれた人がいた。
- ・わかっているけど、きつい話し方をされると腹が立つ。
- ・話し方は大切だなあと思う。自分の考えをきいてもらう話し方があるんだなと思った。
- ・課題や内容によっては、全く付き合いのない人とでも協力ができることを感じた。

4 3年間を通しての取組みの成果と課題(まとめ)

「構成的グループエンカウンター」という新しいことに対する抵抗感が指導者側にあった。しかし、回数を重ねることで生徒の活動に対する反応や取組みはよくなっていき、指導者側も学級活動や道徳の材料として一つのスキルを身に付けることができたことが大きい。また、今の生徒たちには、このような体験をする機会を設けることが必要であることを、残念に思いながらも実感できた。

生徒たちも「仲間づくりエクササイズ」としているこの活動に対しては、内容にもよるが好意的な受け止めが多く、毎回の活動の振り返りで行う「楽しかったか」、「ためになったか」という評価でも、5段階で平均は4程度になる。最初はためらいのあった生徒たちも、決められた話し方によるスキルの習得や、無意識のままのエンカウンター体験(本音を話し、認めてもらう)の繰り返しから、次第に意識的に自己開示もできるようになってきた。不登校生徒等への直接的な働きかけにはなっていないが、教室復帰を支える集団づくりとして効果は期待できる。

これからの課題としては、教員自身が自己開示を抵抗なく行い、各活動におけるねらいを明確に伝えるというリーダー(指導者)としての力量を高めること、普段の生活に直結するエンカウンター体験をさせること、系統的な年間計画をもとにした全校体制での活動としていくことがあげられる。

5 年間計画 (別紙)

エクササイズの年間計画

1年

宇部市立黒石中学校

月	学校行事・特徴	対応すべき実態・課題	エクササイズ ()内は指導例等参考資料
4月	・入学式、始業式 ・学級組織づくり ・家庭訪問	○新しい生活の中での新しい級友との関係づくり	◎SGEエクササイズの目的や方法の理解 ①学級づくり「ジャンケン自己紹介」(仲間づくり1-①) ②学級づくり「あなたにインタビュー」(仲間づくり1-②) ③学級づくり「2者択一」(仲間づくり1-③) ◎各領域での活用 ④国際理解「ところ変われば」(参考書籍B P114) ⑤性教育「男が得?女が得」(仲間づくり1-⑤)
5月	・ゴールデンウィーク ・自然教室 ・中間テスト	○中学校生活の理解と学級集団づくり	
6月		○仲良しグループの発生	
7月	・期末テスト ・保護者会 ・終業式、夏期休業	○学校生活や人間関係の慣れによるトラブルが発生 ○敬遠しはじめる男女間の関係づくり ○習慣や価値観の違いの理解と認め合い	
9月	・始業式 ・学級組織づくり ・運動会	○人間関係の確認	◎自己理解と表現の仕方や他者理解と聞き方の習得 ⑥学級づくり「ひと夏の体験」(参考資料A P106) ⑦学級づくり「月世界」(参考書籍A P112) ⑧学級づくり「いじめの構造」(参考書籍C P98) ◎各領域での活用 ⑨人権教育「水平社宣言」(参考書籍C P178) ⑩進路指導「私の価値観と職業」(仲間づくり1-⑩)
10月	・合唱コンクール ・文化祭 ・中間テスト	○学級の団結を深める行事に向けた学級集団づくり	
11月		○いじめの発生 ○進路を考えた自己理解のすすめ ○人間関係を豊かにするための人権感覚の錬磨	
12月	・期末テスト ・保護者会 ・終業式、冬季休業		
1月	・始業式 ・学級組織づくり	○集団の中での自分の存在の自覚	◎自己肯定感と他者受容の促進 ⑪学級づくり「気になる自画像」(参考書籍A P119) ◎各領域での活用 ⑫進路指導「私はだあれ」(参考書籍A P66) ⑬性教育「究極の男女交際」(仲間づくり1-⑬)
2月	・学年末テスト	○男女間の人間関係と交際のあり方への理解 ○職業を通して見る自分の個性の把握	
3月	・卒業式 ・修了式		

《参考書籍》

- A 「エンカウンターで学級が変わる」
- B 「エンカウンターで学級が変わるパート②」
- C 「エンカウンターで学級が変わるパート③」

- D 「エンカウンターこんなときどうする」
- E 「エンカウンターで学級づくりスタートダッシュ」
- F 「構成的グループエンカウンター事典」

- G 「エンカウンターで進路指導が変わる」
 - H 「エンカウンターで学校を創る」
- 以上全て 図書文化社

※ 「仲間づくり」・・・本校資料

エクササイズの年間計画

2年

宇部市立黒石中学校

月	学校行事・特徴	対応すべき実態・課題	エクササイズ ()内は指導例等参考資料
4月	・始業式 ・学級組織づくり ・家庭訪問	○新しい級友との関係づくり (旧クラスへの未練) ○中間学年としての自分の役割認識と学級集団づくり	◎SGEエクササイズの目的や方法の確認 ①学級づくり「他己紹介」 (仲間づくり2-①) ②学級づくり「サイコロトーク」 (仲間づくり2-②) ③学級づくり「みんなでリフレーミング」 (参考書籍C P82)
5月	・ゴールデンウィーク ・社会見学 ・中間テスト	○学級を越えた仲良しグループへの依存 ○学級の雰囲気確立となじめない生徒の発生	◎各領域での活用 ④環境教育 「あなたならどうする？」 (参考書籍B P136) ⑤性教育 「6人の人生」 (参考書籍F P472)
6月		○男女間の相互理解と関係づくり	
7月	・期末テスト ・保護者会 ・終業式、夏期休業		
9月	・始業式 ・学級組織づくり ・運動会	○人間関係の確認 ○学級の団結を深める行事に向けた学級集団づくり	◎自己理解と表現の仕方や他者理解と聞き方の習得 ⑥学級づくり「いつ・誰に・何を」 (仲間づくり2-⑥) ⑦学級づくり「トランプの国の秘密」 (仲間づくり2-⑦) ⑧学級づくり「アサーションを試そう」 (参考書籍E P160)
10月	・合唱コンクール ・文化祭 ・中間テスト	○慣れから生じるグループ内でのトラブル発生 ○進路を考えた自己理解のすすめ	◎各領域での活用 ⑨人権教育 「違っていいこと？」 (仲間づくり2-⑨) ⑩進路学習 「10年後の私」 (参考書籍B P161) (参考書籍C P96)
11月		○習慣や価値観の違いの理解と認め合い	
12月	・期末テスト ・保護者会 ・終業式、冬季休業		
1月	・始業式 ・学級組織づくり	○集団の中での自分の存在の自覚 ○男女間の人間関係と交際のあり方への理解	◎自己肯定感と他者受容の促進 ⑪学級づくり「私の四面鏡」 (仲間づくり2-⑪)
2月	・学年末テスト	○高等学校選択を通して見る自分の個性の把握	◎各領域での活用 ⑫進路学習 「学校選びのものさし」 (参考書籍B P88) ⑬性教育 「バレンタイン究極の選択」 (仲間づくり2-⑬)
3月	・卒業式 ・修了式		

《参考書籍》

- A 「エンカウンターで学級が変わる」
- B 「エンカウンターで学級が変わるパート②」
- C 「エンカウンターで学級が変わるパート③」

- D 「エンカウンターこんなときどうする」
- E 「エンカウンターで学級づくりスタートダッシュ」
- F 「構成的グループエンカウンター事典」

- G 「エンカウンターで進路指導が変わる」
 - H 「エンカウンターで学校を創る」
- 以上全て 図書文化社

※ 「仲間づくり」・・・本校資料

エクササイズの年間計画

3年

宇部市立黒石中学校

月	学校行事・特徴	対応すべき実態・課題	エクササイズ
4月	・始業式 ・学級組織づくり ・家庭訪問	○新しい級友との関係づくり ○最上級生としての自分の役割認識と学級集団づくり	◎SGEエクササイズの目的や方法の確認 ①学級づくり 「他己紹介」 (仲間づくり2-①) ②学級づくり 「私は私が好きです」 (参考書籍A P164) ③学級づくり 「私をたとえると」 (参考書籍C P70) ◎各領域での活用 ④国際理解教育「ところ変われば人変わる」 (参考書籍B P114) ⑤性教育 「エイズを考える」 (参考書籍B P198)
5月	・ゴールデンウィーク ・修学旅行 ・中間テスト	○学級を越えた仲良しグループへの依存 ○学級の雰囲気の確立となじめない生徒の発生	
6月		○男女間の相互理解と関係づくり	
7月	・期末テスト ・保護者会 ・終業式、夏期休業		
9月	・始業式 ・学級組織づくり ・運動会	○人間関係の確認 ○学級の団結を深める行事に向けた学級集団づくり ○慣れから生じるグループ内でのトラブル発生 ○高等学校選択を通して見る自分の個性の把握 ○進路希望の違いによる人間関係の変化	◎自己理解と表現の仕方や他者理解と聞き方の習得 ⑥学級づくり「自分探し」 (参考書籍A P170) ⑦学級づくり「宝島」 (仲間づくり3-①) ⑧学級づくり「アサーションを試そう」 (仲間づくり3-②) ◎各領域での活用 ⑨人権教育 「みんな違ってみんないい」 (参考書籍B P124) ⑩進路学習 「オープン・ザ・なやみ」 (参考書籍C P130)
10月	・合唱コンクール ・文化祭 ・中間テスト		
11月			
12月	・期末テスト ・保護者会 ・終業式、冬季休業		
1月	・始業式 ・学級組織づくり ・高校入試(～3月)	○進路決定に向けた葛藤と不安 ○卒業にあたっての感謝の気持ちの表し方 ○学級集団の最後に向けたまとめ	◎自己肯定感と他者受容の促進 ⑪学級づくり「25才の私からの手紙」 (参考書籍A P192) ⑫学級づくり「別れの花束」 (参考書籍A P194) ◎各領域での活用 ⑬進路学習 「模擬面接」 (参考書籍B P92)
2月	・学年末テスト		
3月	・卒業式		

《参考書籍》

- A 「エンカウンターで学級が変わる」
- B 「エンカウンターで学級が変わるパート②」
- C 「エンカウンターで学級が変わるパート③」

- D 「エンカウンターこんなときどうする」
- E 「エンカウンターで学級づくりスタートダッシュ」
- F 「構成的グループエンカウンター事典」

- G 「エンカウンターで進路指導が変わる」
 - H 「エンカウンターで学校を創る」
- 以上全て 図書文化社

※「仲間づくり」・・・本校資料